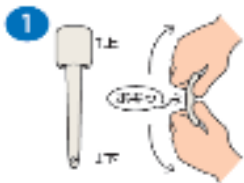


## ◎特徴

- 本品はイノシシが嫌がる特殊な臭いで、イノシシを寄せつけないことを目的とした商品です。
- 忌避成分は食品添加物を主成分としていますので、安全性が高く安心です。
- 忌避スティックの中に、ガラスアンプルが入っていますので、軽く折り曲げることで忌避を開始します。
- 本品の有効成分は使用開始（ガラスアンプル破割時）から、約1年になります。プラスチック製なので雨にも強く、匂いを徐放します。
- イノシシの嗅覚に訴求する製品の為、人間には殆ど臭いが判りません。従って臭いが感じられないと思っても、イノシシが感じる臭いは徐放しています。

## ◎使用方法

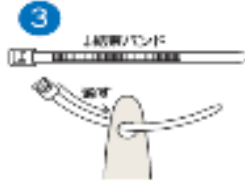
- 設置範囲を決めて下さい。
- 設置範囲を決めたら、必要に応じロープ・棒・網などで、忌避スティック設置の準備をして下さい。（※既存の金網・電気柵などに設置することを推奨しています。）
- 準備が整ったら、忌避スティックを軽く折り曲げ、数回振って下さい。
- 放出口（写真）を下に向け、地上から放出口の高さ 約40cm～80cm 間隔を約1.5m～2mで設置して下さい。（※個体の大きさなどにより変えて下さい）
- 侵入経路がお判りの場合は、侵入口に密に設置して下さい。
- 製品上部に取付け穴が開いていますので、付属のワイヤーバンドで、しっかり固定して下さい。（※忌避スティックが動いて間隔がズレると、忌避効果に隙が出来、そこから侵入される恐れがあります）
- 高さや間隔、設置方法など、個体や環境に応じて考察し、色々な方法をお試し下さい。（※忌避材近辺に、イノシシが足止めをする工夫を施すことを推奨します。）



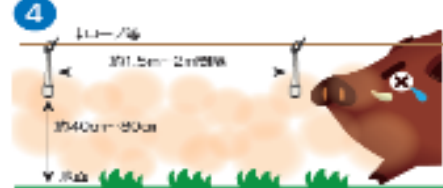
「しし防」の太い方を上にして、ボキッと音がする程度に軽く折り曲げます。  
※折り曲げる場所を密に2～3回折り曲げて下さい。



「しし防」太い方を上にしたまま軽く数回上下に振り、液体を混ぜ合わせて下さい。



上部の穴に、結束バンドなどの吊り下げ用のひもを通します。



設置範囲にロープなどを張り、地上から約40cm～80cmの高さで、約1.5m～2m間隔でしっかり固定して下さい。

※既存の金網・電気柵などに設置することを推奨します。


※忌避材近辺に、イノシシが足止めをする工夫を施すことを推奨します。

※設置範囲は、個体の大きさなどにより変えて下さい。

## ◎使用上の注意


- スティックを急角度に折り曲げたり、何度も折り曲げたりしないでください。内部の液体が漏れたりすることがございます。
- 小さなお子様のご使用は、避けて下さい。また手伝いなどでやむを得ず使用する際は、保護者が付き添い、いたずらに注意して下さい。
- 保管する場合、小さなお子様の手の届かない場所に保管して下さい。
- 食べ物ではありません。口に入れたり、くわえたりしないで下さい。万が一ご飲した場合は、医師の指示に従って下さい。
- ペットなど愛護動物などに与えないで下さい。
- ご使用後は、放置せず、必ず各自治体の廃棄方法に従って、処分して下さい。
- 使用前の製品を保管する場合、直射日光、高温多湿の場所を避けて保管して下さい。
- スティックは軽く折り曲げて下さい。スティック内部には、ガラスが入っております。ケガにご注意下さい。
- イノシシ忌避以外の用途では、ご使用しないで下さい。
- 設置する際は、周辺環境・生物に注意しながら設置して下さい。（例・・・マムシ・かぶれる植物など）
- 効果は約1年続きます。が、1年過ぎても、忌避スティック内に、溶液が残っている場合がございますが効果が低下していますので、新しいスティックとお取替え下さい。
- 一度忌避スティック内のガラスアンプルを破割すると、忌避成分が徐放されますので、破割後は即使用して下さい。
- 本品の有効成分は、約1年徐放されますが、使用環境によっては、短くなる場合もあります。
- 忌避成分は食品添加物ですが、絶対に口の中に入れたり、飲んだりしないで下さい。
- 放出口は、フィルムが施してありますので、破ったり、触ったりしないで下さい。
- 稀にイノシシが、忌避スティックを攻撃し、カジられる事案があります。スティック内の内溶液が無くなっていたら他の新しいスティックと交換して下さい。
- 取り付けにあたって、アレルギー体質の方、喘息の方、気分が優れない方、身体に異変を感じた方はご使用をやめて下さい。
- 誤った設置方法や、場所、天災や異常気象、台風、豪雨などの気象条件下に於いては、忌避効果が現れない場合があります。
- イノシシの個体差、周辺環境によって、効果が現れにくい場合がございます。（潮風の強い場所など）
- 複数の環境下でフィールドテストを実施し、猪に対して一定の忌避効果が確認されていますが、作物や、土地、居宅、人身への被害の保障は出来かねますので、ご了承願います。

しし防  
設置する前に・・・




- ◎ご自分の土地は、ご自分で守ると云う意識を高めて下さい。
- ◎イノシシの出没しにくい環境を作して下さい。
  - ・くず野菜・廃棄野菜・廃棄果物をそのままにせず、片付けて下さい。
  - ・農地周囲の雑草刈り・農地周囲放棄地の雑草刈り、竹の伐採などを行い、見晴らしの良い環境を作して下さい。
  - ・沼地・窪地など、水が溜まりやすい環境を作らないようにして下さい。
- ◎複合的に守ることを意識して下さい。
  - ・イノシシ対策に特効薬はありません。効果的な柵・罨・忌避材などを活用し周囲と協力して被害を最小限に減らす工夫をして下さい。

しし防  
設置例



- ◎既存の金網・電気柵などに設置することを推奨します。
- ◎忌避材周辺に、イノシシが足止めをする工夫を施すことを推奨します。
- ◎設置範囲は、固体の大きさなどにより変えてください。
- ◎広い土地に設置する場合、区画を区切って設置して下さい。
- ◎設置時期を考慮して、設置して下さい。
- ◎二次元・三次元的に設置することも考慮して下さい。
- ◎風向き、地形、近隣の状況を考慮し、設置して下さい。
- ◎捨て地を作り、そこに誘導するように設置することを推奨しています。

設置場所についての注意



下り坂にはなるべく設置しないで下さい。  
(イノシシは狭く密着心の強い動物ですが、下り坂を下る時に「しし柵の無い」を突破する恐れがあります)

※既存の金網・電気柵などに設置した例  
※色々な防御と複合して護ることを推奨しています。



※既存の金網・電気柵などに設置できない場合  
※やむを得ない場合にのみ、参考にして下さい。

